

## 長野・千曲の金型6社 インドネシアで出展 アジア販路開拓目指す

【長野】長野県千曲市の金型メーカー6社は、インドネシアで1日から行われる製造業関連の総合展示会に共同出展する。同市には金型関連などで優れた精密加工技術を持つ中小企業が集積しており、日系企業や現地の有力成形メーカーに精密金型などを売り込む。田高や取引先の海外移転が進む中、成長するアジア地域で販路開拓の足が

かりとしたい考えた。プレス金型大手のアビックヤマタなど6社は1日から4日間、首都ジャカルタで開催される製造業総合展「マニラアクトヤリング・インドネシア2010シリーズ」の「マシンツール・インドネシア」に出展する。同市の金型メーカーが海外の展示会に共同出展するのは初めて。出展に合わせ「千曲市金型工業会」の名称で登録した。共同出展するのはアビックヤマタのほか、滝沢工研、ホクト精工、ワンビット、中島精工、ミヤマ精工の計6社。

現地に進出した日系企業による金型の調達は3割程度にとどまり、精密金型などの調達に苦慮しているという。

一方、自動車や事務用機器などの生産が増えており、金型の需要拡大が期待できるとして出展を決めた。